



ふくいの会社デカラ取材班 ～あの会社はこんなことを実践している～

YEG Business Times

福井商工会議所青年部(福井YEG)

Vol.2

ふくいの会社デカラ取材班レポート

株式会社ヤスブン編



2015年12月2日に、ビジネス活性化委員会主催「ふくいの会社デカラ取材班」(株)ヤスブン編を実施しました。福井YEGメンバー取材班(総勢19名)が同社を訪れ、代表取締役社長の末定氏と松原氏、河原氏に対し、酒専門店に加え業務スーパー展開など成長を続ける同社の経営手法を取材しました。



代表取締役社長 末定清剛氏

富士は裾野があるから美しい。竹は節があるから強い。

社員一人一人と意思を共有するため、毎朝フィロソフィー勉強会を開催しているヤスブン社。人間として人間らしく、当たり前なことを当たり前に行える社員がいるからこそ、社会にとって必要とされる会社になれるとの考えのもと、日々ベクトルを合わせる活動の習慣化を徹底しています。人間力こそが会社の基礎。それを日々鍛錬することが更に強さを増す。末定社長の考えにブレは全くありません。



社員が携帯しているフィロソフィーブック

社員があつてからこそ成し得た再生。

民事再生から10年。あの辛い経験からここまで来れたのは社員の努力があったからと末定社長は断言されます。そして社員が幸せに働けるのは社員のご家族の協力があるからとも。ここ数年でようやく支給出来るようになったという賞与の袋には、末定社長から社員とその家族へのメッセージを書けるだけ書き込んで渡しているそうです。また年に数回、幹部社員が一般社員を手作り鍋でもてなすとのこと。ヤスブン社では“感謝の気持ち”がぐるぐる循環していることが伝わってきました。



取材班を歓迎頂くお気遣い(感謝)

心に響いた言葉・・・

「自分たちの意思でつくる！」

「共に福井をよくしていこう！」

「意識が変われば運命が変わる!!」

「強制ではなく『説明して』全員参加させる！」

「全社員の物心両面の幸せの為に
高収益で無くてはならない」

今回の取材班の参加者アンケートの声で、最も多かったのは、末定社長のお客様・会社・社員とその家族に対する熱い思いが素晴らしいとの声でした。その思いを徹底的に社員と共有する行動こそ同社再生の原動力であると今回の取材で体感しました。

取材メモ



株式会社 キシモト商会では、「社是」を目に見える場所に設置し、毎朝の朝礼で唱和することになりました。全員での唱和を行うことにより、社内のベクトルを合わせようと考えています。



実践事例

社員全員で、同じベクトルを合わせる。



ふくいの会社デカラ取材班 ～あの会社はこんなことを実践している～

YEG Business Times

福井商工会議所青年部(福井YEG)

Vol.1

ふくいの会社デカラ取材班レポート

株式会社オールコネクト編



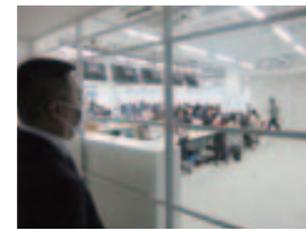
2015年11月19日に、ビジネス活性化委員会主催「ふくいの会社デカラ取材班」(株)オールコネクト編を実施しました。福井YEGメンバー取材班(総勢21名)が同社を訪れ、取締役副社長の古市氏と大久保氏に対し、創業10年にして成長を続ける同社の経営手法を取材しました。



代表取締役社長 岩井宏太氏

あるべき姿を可視化する。

会議室など社員が共有するスペースにおいて、いかにして整理された空間を保つか——簡単なようでこれがなかなか難しいこと。オールコネクト社では社員の発案により、共有空間には写真のように“あるべき姿”が写真付きで掲示されています。これにより、誰が使用しても同じ状態へと原状復旧し、次の社員がベストの状態で使用できる工夫がなされているのです。元の状態へと戻るとは実は人それぞれ。あるべき姿を可視化する——“共有する=明確にする”ということなんです。



競争する環境でなければ成長しない。

200名以上のスタッフが巨大な1フロアに配置され、各部門が効率よくコミュニケーションがとれる空間。天井部からはたくさんのモニターが吊り下げられており、営業実績状況がリアルタイムで表示され、常に競争原理が働くような環境になっています。1分1秒を無駄にせず常に競争することが、個として組織の成長につながる——成長を続けるオールコネクト社の根幹を見た気がしました。

心に響いた言葉・・・

日本最大企業より日本最速企業。

言い訳は人生を無駄にする!!

何が出来るかではなく、何がしたいか

情熱は知識や技術に勝る。

質問には質問で返す。

失敗したことがないというのは大失敗だ。

顧客に対して成功報酬型サービスを独自展開し、従業員に対しては部活推進支援などを積極的に行うなど、実行力に驚かされるばかりでした。まずはやるという言葉通り、この実行力こそ最大の強みである事を、今回取材で伺い勉強になりました。

取材メモ

玩具問屋 大村商店では、以前まで事務所や商談室が、サンプルや資材等が散乱していました。そこで、新たに収納場所を設置し、そこにサンプルの系統名や資材なども、名称とカラー、サイズを書き記す事で「あるべき姿」を可視化する事ができるようになりました。



実践事例

まずはやる！その後考える。それを早く速く繰り返す。